

# 価値創造の成果 (財務・非財務ハイライト)

2016年3月、中期目標として「2018年度までに連結経常利益1,500億円以上を実現できる企業グループを目指す」ことを設定しました。中部電力グループは、この目標の実現に向け、グループ一丸となってさまざまな取り組みを進めていきます。

2017年度の収支状況につきまして、売上高は、2兆8,533億円となり、前期に比べ2,497億円の増収となりました。経常利益は、1,285億円となり、前期に比べ70億円の増益となりました。2017年度の期末配当金につきましては、継続的に取り組んでいる経営効率化の進展などによる収支の改善に加え、中長期的な財務状況や経営環境などを総合的に勘案し、1株につき20円とさせていただきます。

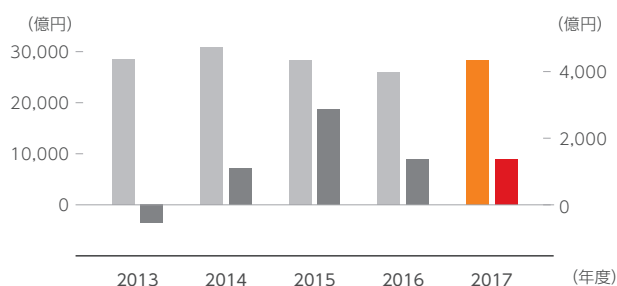
引き続き、グループを挙げて経営効率化を推進するとともに、収入の拡大に努め、お客さまや株主、社会の信頼と期待にお応えできるよう取り組んでいきます。

## 財務

### 売上高(営業収益)／営業損益

P84～参照

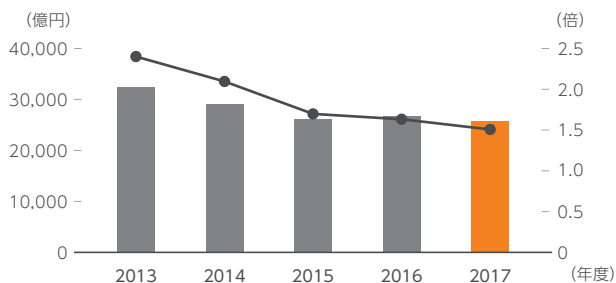
売上高(営業収益) [左軸] 営業損益 [右軸]  
**28,533億円** **1,365億円**



### 有利子負債残高／D/Eレシオ

P84～参照

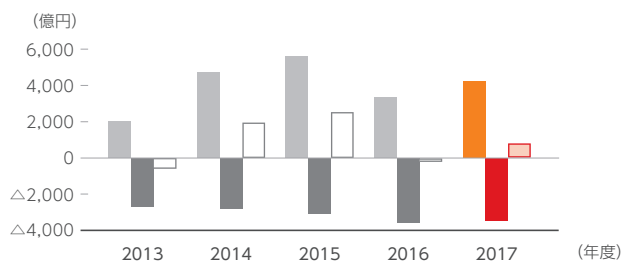
有利子負債残高 [左軸] D/Eレシオ [右軸]  
**25,956億円** **1.5倍**



### 営業活動によるキャッシュ・フロー／投資活動によるキャッシュ・フロー／フリー・キャッシュ・フロー

P84～参照

営業CF 投資CF フリーCF  
**4,241億円** **▲3,444億円** **796億円**



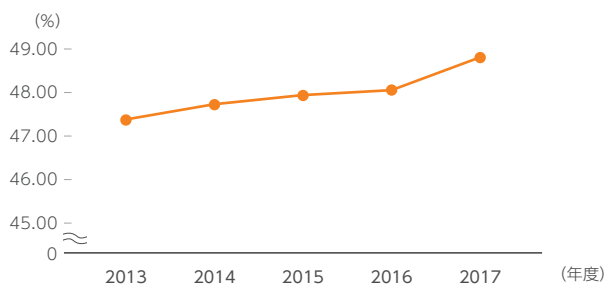
## 非財務 事業活動

### 発電 火力発電設備の総合熱効率

P40参照

世界トップレベル水準の維持・向上に努めます。

**48.94%**

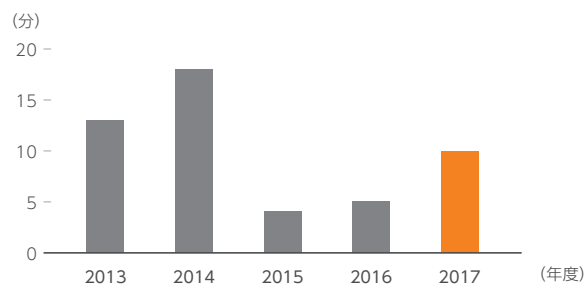


### 送配電 1口あたりの年間故障停電時間数

P43参照

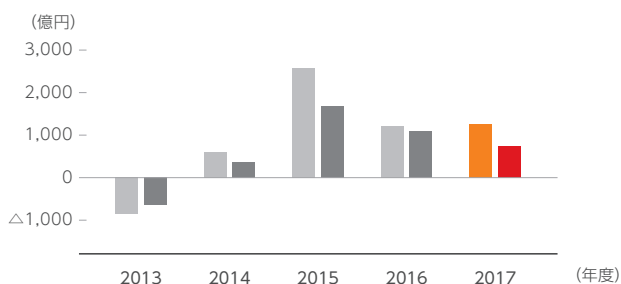
世界トップレベル水準の維持・向上に努めます。

**10分**



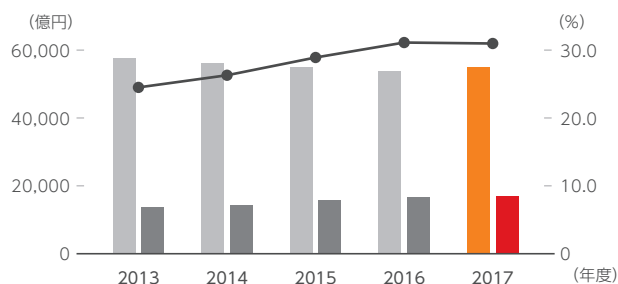
経常損益／親会社株主に帰属する当期純損益 P84～参照

経常損益 1,285億円  
親会社株主に帰属する当期純損益 743億円



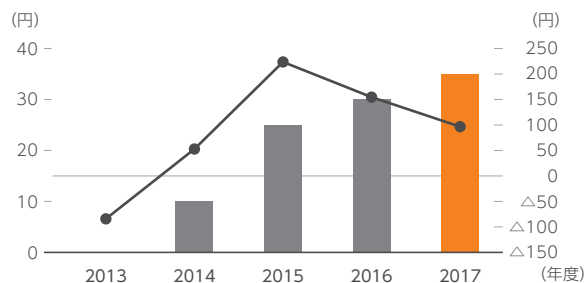
総資産／自己資本／自己資本比率 P84～参照

総資産 [左軸] 55,301億円  
自己資本 [左軸] 17,297億円  
自己資本比率 [右軸] 31.3%



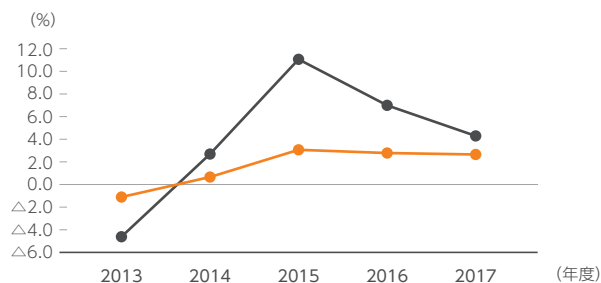
1株あたり配当金／1株あたり純損益 P84～参照

1株あたり配当金 [左軸] 35円  
1株あたり純損益 [右軸] 98.24円



総資産利益率 (ROA)／自己資本利益率 (ROE) P84～参照

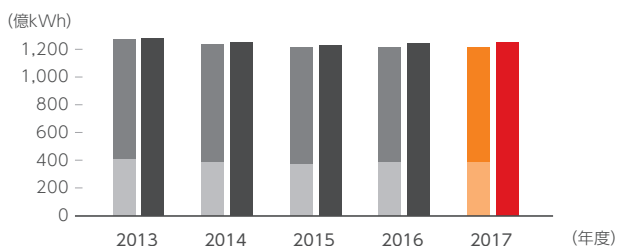
ROA 2.7%  
ROE 4.4%



販売 販売電力量 P47参照

2020年代後半においても1,300億kWhを維持します。

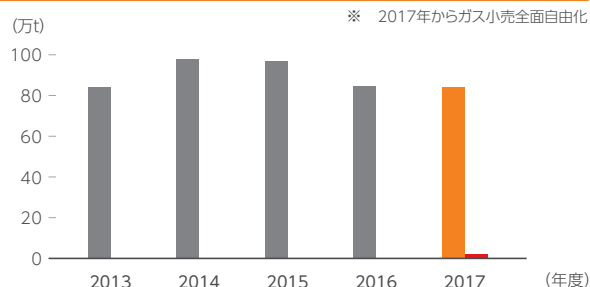
中部電力本体 低圧 (主に家庭用) 1,214億kWh  
中部電力本体 高圧・特別高圧 (主に産業用・業務用) 1,253億kWh  
グループ合計



販売 ガス・LNG販売量 P47参照

2020年代後半に300万tに拡大を目指します。

法人用 84万t  
家庭用・小口業務用 2万t



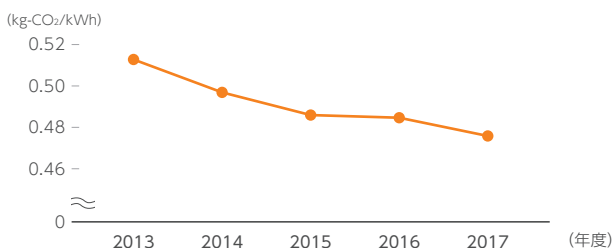
## 非財務 環境 Environment

### 低炭素社会の実現 CO<sub>2</sub>排出原単位

P74 参照

2030年度に電気事業全体で、  
0.37kg-CO<sub>2</sub>/kWh程度を目指します。

0.476kg-CO<sub>2</sub>/kWh

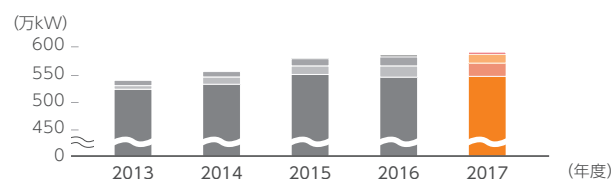


### 低炭素社会の実現 再生可能エネルギー開発実績

P75 参照

積極的に再生可能エネルギーの開発を  
推進していきます。

水力(揚水含) 太陽光 風力 バイオマス  
約546万kW 約24万kW 約17万kW 約1万kW



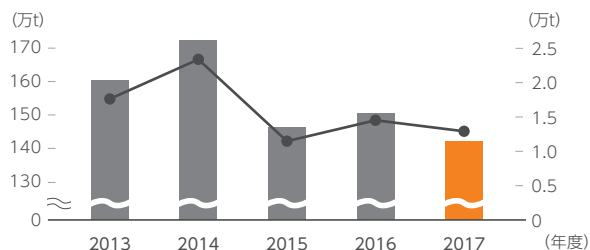
※ 中部電力グループの各年度末の導入量(共同開発は持分のみ計上)。水力には揚水式発電を含む。碧南火力発電所におけるバイオマス燃料の混焼分は含まず。

### 循環型社会 廃棄物・副生物発生量/社外埋立処分量

P77 参照

「廃棄物の社外埋立処分率1%未満」を  
目標としています。

発生量 141.2万t 社外埋立処分量 1.3万t

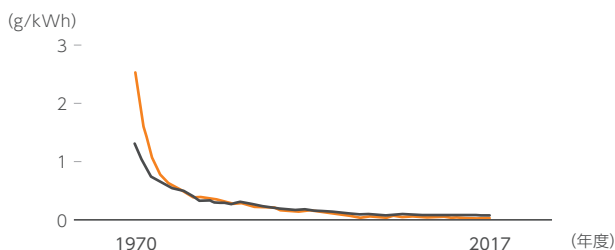


### 自然との共生 火力発電電力量あたりのSO<sub>x</sub>/NO<sub>x</sub>排出量

P77 参照

世界最高の優れた水準に達しており、  
今後も継続して環境保全に努めます。

SO<sub>x</sub> 0.03g/kWh NO<sub>x</sub> 0.07g/kWh



## 非財務 ガバナンス Governance

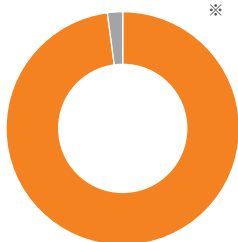
### コーポレート・ガバナンス 社外取締役の取締役会平均出席率

P58 参照

社外取締役の出席率は高く、取締役会の透明性の確保、  
審議の充実につながっています。

97.9%

※ 2016年度、2017年度実績

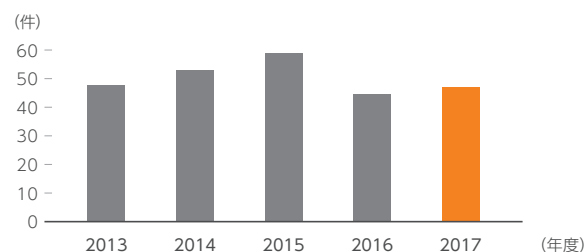


### コンプライアンス ヘルプライン相談件数

P63 参照

相談者保護を徹底するとともに、  
相談者の意向を尊重しています。

47件



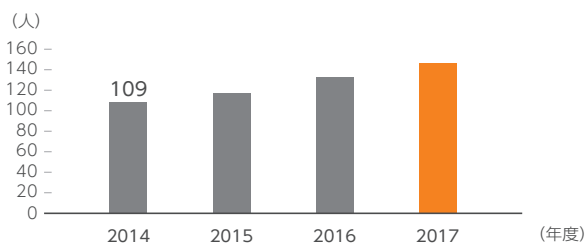
非財務 社会 Social

ダイバーシティ 女性役付職数

P69 参照

2020年度に2014年度の2倍以上とすることを  
目指しています。

145人

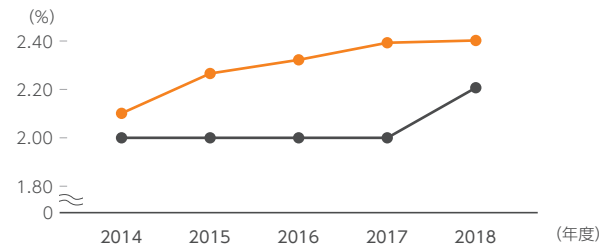


ダイバーシティ 障がい者雇用率／法定雇用率

P70 参照

法定雇用率を上回る雇用を維持しています。

障がい者雇用率 **2.40%** 法定雇用率 **2.2%**



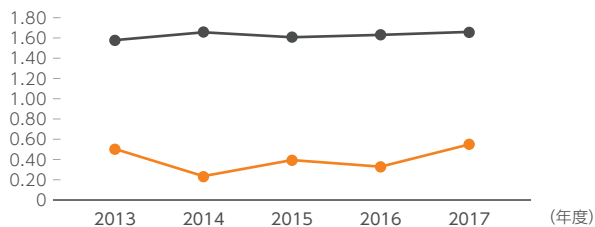
※ 各年度6月1日時点

労働安全 労働災害度数率\*

P68 参照

労働災害の根絶を目指しています。

中部電力 **0.55** 全産業 **1.66**



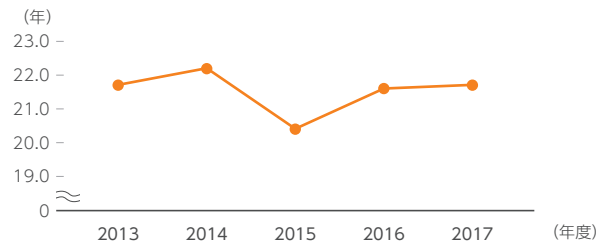
※ 度数率:労働時間100万時間あたりの労働災害による死傷者数(休業1日以上)。災害の発生頻度を表す。

働き方改革 平均勤続年数

P66 参照

ライフ・ワーク・バランスを推進し、  
働きやすい職場を目指しています。

21.7年

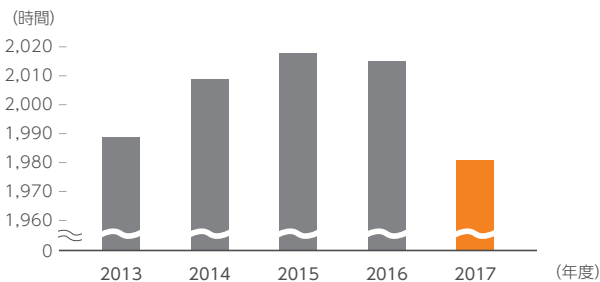


働き方改革 一人あたり総実労働時間

P67 参照

メリハリワークを推進し、生産性の向上に努めています。

1,981時間



次世代教育 出前教室の実施回数

P72 参照

社会貢献の重点分野と位置付け、  
積極的に取り組んでいます。

368回

